



# 若小便り



若松小HP用QRコード

令和3年度 若松小学校便り第7号 令和3年10月28日(木) <http://wakamatu.lolita-punk.jp/>

令和3年度重点教育目標 「自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子どもの育成」

## 残された日々 / The Show Must Go On by Quenn 1991

校長 本谷 弘之

もう3年前になりますが、イギリスのロック・バンド、Queen (クイーン) を、ヴォーカリスト、フレディ・マーキュリーに焦点をあてて、1970年のバンド結成から1985年のライブエイド出演までを映像化した映画「ボヘミアン・ラプソディ」が世界中で長期間大流行しました。この映画で、クイーンを知らないたくさんの若者がクイーン・ファンになったと言われています。しかし、フレディが1991年に早逝したため、バンドは解散状態に。その後、残されたメンバーのうちの二人が、2009年にアダム・ランバートという若いヴォーカリストと出会い、再びクイーンの活動が開始されました。メランコリーポップやハードロック、オペラやゴスペルなどの要素を取り入れた様々な楽曲を歌いこなせるシンガーはフレディ以外にないとされていましたが、アダムは見事にフレディの物真似でなく、自分のスタイルでクイーンの楽曲を歌いこなし、昔からのクイーンファンをも納得させたのです。

前置きが長くなりました。このアダム・ランバートという人は元々音楽をやっていたわけではありません。両親はスポーツ選手にさせようと幼少時はスポーツクラブに通わせていましたが本人にやる気が見られず、それならばと地元の劇団に入れたのです。そこで行っていたミュージカルの役を経験することで、人前で歌う、人前で演ずることこそが自分の進む道と気付き、そこで基礎を学び、個性を確立していったのでした。

子どもの将来は、出会った人、関わった人の影響で大きく変わると言われています。保護者の方はもちろんですが、小学校や中学校の教師は一日の大半を子ども達と共に過ごすため、その影響は大きいでしょう。私は、この期間にどんな経験ができるかで、子どもの将来の選択肢の幅が変化してくると信じてきました。もちろん、高校や大学、またはいったん社会人としての経験を積んでから新たな道を見つけることも否定しません。

本校では、閉校を迎える最後の2年間、子ども達にできるだけ様々な経験をさせようと努めてきました。時代はコロナ禍。制限は多いですが、児童数は一桁。感染対策さえしっかりできれば、たいいていのことは可能な人数です。内容については新聞にも毎月のように取り上げられ、HPでも紹介していますので割愛しますが、これらの経験には、保護者の方々、地域の方々や各団体の方々に快くご協力頂けたことが大きいです。教職員はもちろん、子ども達も感謝の気持ちをなくしてはいけません。ありがとうございます。そして今月10日には、これまでにない内容で、劇や器楽、沖縄の民舞と取り組んだ閉校記念学習発表会を無事に終了することができました。ここでも地域の方々と合唱したり、地域の方々の作品を並べて鑑賞する機会が持てました。

いよいよ閉校記念式典も来月にせまった若松小学校ですが、式典が終わっても、親子で聴くジャズコンサート等、新たな試みが待っています。タスマニアだけでなく、東京や兵庫県の小学校とのオンライン交流も待っています。一つ一つの目的をここでご紹介できないのは残念ですが、このような新たな体験を通して、子ども達にはいつの日か、自分が進むべき道を決定する際に「あの経験があったから」と思ってもらえることを願っています。ちなみに、せたな町内でも子ども達に参加できる様々な行事があります。各ご家庭のご都合もあるでしょうが、こういう機会は、ぜひ活用させてあげたいものです。

さて、閉校まで残り半年を切りました。今後も皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※ 「友よ、俺はまだ飛べるんだ。だからショーを止めるわけにいかない」余命が短いことを知りつつ、歌わずにいられなかったフレディの執念を感じさせる曲です。もちろん、若松小学校も「もう半年を切ったから」などと守りには入りません。修了式を迎えるその日まで、子ども達と新しいショーを演じ続けていきます。

# 若松小学校のプログラミング学習について

文部科学省では、

「家庭生活に（家電、自動車等）、コンピュータが入り込んでいる暮らしの中で、そのコンピュータを効率的に活用するために重要なのは、仕組みを知ること。つまり、コンピュータは、人がプログラミングを行って動かしているものであることを理解することで、子どもたちの可能性が広がる。」

として、あらゆる活動においてコンピュータ等を活用することが求められる将来の社会を生きる子どもたちへ小学校の段階からプログラミング学習を取り入れることを2020年度から始めました。（さらに細かな目的や説明は紙面の関係で省略いたします。）

本校では、昨年度、全学年で学年別に、体育館で決まったコースをプログラミングによりドローンを飛ばす学習を行いました。これは、今、多くの仕事に活用できる可能性が秘められ、現実化もしています。ビジュアル・プログラミング言語という、わかりやすいプログラミングの方式で低学年でも高学年と同じように楽しみながら扱うことができました。



今年度は、毎週木曜日の朝にチャレンジタイムを設け、隔週で1人1台端末を用いて、個々のレベルに合わせたプログラミング学習を行っているところです。

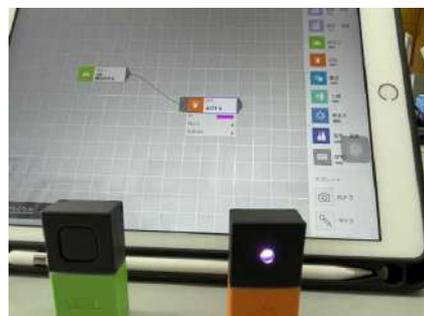
もちろん、普通の授業の中でも、教科書に「プログラミングで」という指示のある部分ではプログラミングについて触れます。しかし、この段階では、あくまでも画面の中で物を動かすプログラミングにすぎません（もちろん、そこも重要なのですが）。

そこで、今年度コロナ禍を理由に研修旅行を取りやめたPTAの予算から、プログラミング学習に使用できる、プログラミングカーとME SHという教材を購入させていただき、これを使用して、ドローンのように具体物を動かすプログラミング学習も行っています。

プログラミングカーは、今は2・3年生が使用していますが、休み時間等で自由に使うことで、すでに思った通りに動くようにプログラミングを行うことができるようになりました。ここまでくればあとは、教師が学習に結びつくような課題の与え方を工夫するだけです。



5・6年生は、今月15日（金）に初めてME SHの操作の仕方について学習しました。何をやるにも新しいことをするには使い方をきちんと把握する必要があります。IoTブロック



を用いて、パソコンやタブレット上で直感的にプログラミングが行えるため、子どもたちは簡単に使い方に馴染んでいました。これも、理科や総合的な学習の時間など、教師の想像力と子どもたちの想像力で様々な学習活動を展開することが可能となる教材です。購入を認めていただいた保護者の皆様に感謝いたします。

12月12日（日）午前中に予定している日曜地域参観日でも、これらを使用した授業を考えておりますので、ぜひ保護者だけでなく地域の皆様にもご覧いただきたく思っています。

# 閉校記念学習発表会

## たくさんの方々のご来場ありがとうございました

10月10日（日）あいにくの曇り空ではありましたが、たくさんの方々の地域の方々や地域に在住する卒業生にも来ていただき、「令和3年度 閉校記念学習発表会」を無事に終えることができました。運動会、学習発表会と終了すると、その年度の大きな行事はあとは卒業式を残すだけ、というのが通年ですが、今年度はそこに閉校記念式典が11月に加わります。



そうです、今年の学習発表会は、若松小学校としての最後の発表会でした。子どもたちは、「最後だから特別に」、ではなく、これまでと同じように精一杯練習し、皆が心を合わせて全力で取り組んで見せてくれました。

うまく出来ても、変更を求められ、さらに高みを目指す先生方の指導の声に不満をもらすことなく、少ない練習時間を休み時間や放課後の時間を駆使して、なんとか本番を迎えるまでになった発表会です。終了後に皆さんからいただいた「感想カード」には、

## 交通安全啓発活動と稲刈り

### 今年もくさんの方々のお世話になりながら行えました

9月24日には、Uさんの水田の一角をお借りして、春に苗植えを行った稲刈りを行いました。ここまで生育できたのもUさん始め、JA新はこだて若松支店青年部の皆様のおかげです。当日も準備から後片付けまでお手伝いいただきました。



28日は、同じくJAさんで、子どもたちが書いた交通安全標語の紙を入れたじゃがいもの袋を用意していただき、せたな警察署の方にお手伝いいただき、交通安全啓発活動を行いました。ご協力ありがとうございました。



うまく出来ても、変更を求められ、さらに高みを目指す先生方の指導の声に不満をもらすことなく、少ない練習時間を休み時間や放課後の時間を駆使して、なんとか本番を迎えるまでになった発表会です。終了後に皆さんからいただいた「感想カード」には、

うまく出来ても、変更を求められ、さらに高みを目指す先生方の指導の声に不満をもらすことなく、少ない練習時間を休み時間や放課後の時間を駆使して、なんとか本番を迎えるまでになった発表会です。終了後に皆さんからいただいた「感想カード」には、



今回の職員原稿は、子どもたちの健康状況を把握し、いつも適切な助言をいただいているスクールヘルスリーダーの間宮先生に担当していただきました。

## 私のシフォンケーキ研究

スクールヘルスリーダー 間宮 初美

オーブンの中でムクムク膨らむシフォンケーキ作りが好きです。薄力粉、卵、砂糖、サラダ油。特別な材料を必要としないシフォンケーキは私の「作ってみたい！」意欲をかき立てました。

基本的なプレーンシフォンから挑戦すればよいものを私はいきなりバナナを混ぜ込んだシフォンから作ろうとしました。なぜなら、ちょうど熟したバナナがそこにあったからです。バナナシフォン成功まで長い道のりの始まりでした。

さっそく挑戦するも膨らみが足らず失敗。初めてで、手順にもたついたせいだと思い次はレシピをしっかりと頭に入れて挑戦！また失敗。その後、何度も挑戦するも失敗ばかりでした。

悔しい！失敗の原因を必死で考えました。

参考にしたレシピは小麦粉がもつ粘り成分グルテンを引き出すことが重要と書いてありました。失敗続きの制作過程の中でその粘る感覚をなぜか感ずることが出来ませんでした。もしかしてバナナに原因があるのかも？そう思うようになり調べました。

バナナには白い筋のようなものがついています。その筋には澱が含まれているそうです。この澱が小麦粉のグルテンを壊してしまうそうなのです。筋を除かずに生地混ぜ込んでしまったことでグルテンを壊してしまい粘りが出なかったのではないだろうかと考えました。熟しすぎバナナはこの筋がなかなか取り除きづらかったのです。

それを踏まえレシピには書いていない自分なりのバナナの下準備と生地への混ぜ方をしました。そしてやっと粘りを感じることができるようになり、めでたく、ふんわり膨らんだバナナシフォンを焼くことができました！その嬉しかったことといたらなかったです。

バナナシフォンをちゃんと焼くことができてから、澱と同じ成分をもったココアやコーヒー、抹茶を入れたシフォン作りにその経験が役立っている気がしています。

以来、家族の誕生日、クリスマスにはこぞとばかりにシフォンケーキを焼いています。「お店にケーキを買いに行く機会が減り、なんと経済的なことか！」と得意げに語っていますが、何度も挑戦した際に費やした材料費、電気料等のことはあえて語らずにいます。



## 11月の行事予定 (※今後の情勢により変更になることもあります)

日	曜	行事予定	バス	日	曜	行事予定	バス
1	月	全校集会(業間)	14:40	16	火		14:40
2	火	2・3年生交流学习	14:40	17	水	スパ水	14:40
3	水	文化の日		18	木	歌11:10~	14:40
4	木	児童会・委員会(業間) 歌11:10~	14:40	19	金	前日準備作業 歌19:00~	14:40
5	金	森林教室③(5・6教時)	14:40	20	土	若松小学校閉校式典	朝のみ
6	土	町民文化祭		21	日		
7	日	町民文化祭		22	月		14:40
8	月	歌11:10~	14:40	23	火	勤労感謝の日	14:40
9	火	収穫感謝祭13:00~14:30	14:40	24	水	児童会・委員会(業間) 移動図書交換	14:40
10	水	児童会・委員会(業間)	14:40	25	木		14:40
11	木	歌11:10~	14:40	26	金	百人一首クラブ①	14:40
12	金		14:40	27	土		
13	土			28	日		
14	日			29	月		14:40
15	月	歌11:10~	14:40	30	火	3・5年北小参観日(全学年北小へ)	北小から